

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成20年1月10日(2008.1.10)

【公表番号】特表2007-519950(P2007-519950A)

【公表日】平成19年7月19日(2007.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2007-027

【出願番号】特願2006-547243(P2006-547243)

【国際特許分類】

G 09 G	3/02	(2006.01)
H 04 N	5/74	(2006.01)
G 02 F	1/133	(2006.01)
G 03 B	21/00	(2006.01)
G 03 B	21/14	(2006.01)

【F I】

G 09 G	3/02	A
H 04 N	5/74	Z
G 02 F	1/133	5 0 5
G 03 B	21/00	E
G 03 B	21/14	A

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月15日(2007.11.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

投射面に画像を投射するための配列であって、

a) 入力ビデオ信号を処理して、液晶ディスプレイ(LCD)スクリーンにピクセルを表示させるように作用するLCD信号を出力するLCDコントローラと、

b) 走査線のラスターパターンとして、相互に直交する複数の軸に沿ってレーザービームを掃引する画像プロジェクターであって、各走査線は、複数のピクセルを有している、画像プロジェクターと、

c) 該出力されたLCD信号を、該投射面上の画像として該ラスターパターン内の選択されたピクセルを照らすように該画像プロジェクターを制御するように作用するレーザー投射デバイス(LPD)制御信号に変換するLPDコントローラとを備えている、配列。

【請求項2】

前記画像プロジェクターは、前記レーザービームを生成するレーザーと、前記複数の軸のうちの1つの軸に沿って該レーザービームを掃引する第1の振動可能走査鏡と、該複数の軸のうちの別の軸に沿って該レーザービームを掃引する第2の振動可能走査鏡とを含んでいる、請求項1に記載の配列。

【請求項3】

前記画像プロジェクターは、結合されて前記レーザービームを形成する複数の成分ビームをそれぞれ生成する複数のレーザーと、前記複数の軸のうちの1つの軸に沿って該レーザービームを掃引する第1の振動可能走査鏡と、該複数の軸のうちの別の軸に沿って該レーザービームを掃引する第2の振動可能走査鏡とを含んでいる、請求項1に記載の配列。

【請求項 4】

前記LCDコントローラと前記LPDコントローラとが結合されて、単一のコントローラになる、請求項1に記載の配列。

【請求項 5】

前記出力されたLCD信号は、ピクセルデータと、ラインデータと、クロックデータを含んでいる、請求項1に記載の配列。

【請求項 6】

投射面に画像を投射する方法であって、

a) 入力ビデオ信号を処理して、液晶ディスプレイ(LCD)スクリーンにピクセルを表示させるように作用するLCD信号を出力するステップと、

b) 走査線のラスターパターンとして、相互に直交する複数の軸に沿ってレーザービームを掃引するステップであって、各走査線は、複数のピクセルを有している、ステップと

c) 該出力されたLCD信号を、該投射面上の画像として該ラスターパターン内の選択されたピクセルを照らすように作用するレーザー投射デバイス(LPD)制御信号に変換するステップと

を包含する、方法。

【請求項 7】

前記レーザービームを生成するステップと、前記複数の軸のうちの1つの軸に沿って該レーザービームを掃引する第1の走査鏡を振動させるステップと、該複数の軸のうちの他の軸に沿って該レーザービームを掃引する第2の走査鏡を振動させるステップとをさらに包含する、請求項6に記載の方法。

【請求項 8】

結合されて前記レーザービームを形成する複数の成分ビームを生成するステップと、前記複数の軸のうちの1つの軸に沿って該レーザービームを掃引する第1の走査鏡を振動させるステップと、該複数の軸のうちの他の軸に沿って該レーザービームを掃引する第2の走査鏡を振動させるステップとをさらに包含する、請求項6に記載の方法。

【請求項 9】

前記出力されたLCD信号は、ピクセルデータと、ラインデータと、クロックデータを含んでいる、請求項6に記載の方法。